

飼い主のいない猫（野良猫） に困っていませんか？

市には、飼い主のいない猫による被害に関する相談が多く寄せられます。

猫に迷惑している人やかわいそうだと思っている人など考えはさまざまですが、「飼い主のいない猫を減らしたい」ということは共通の思いではないでしょうか。

飼い主のいない猫の問題を地域の環境問題としてとらえ、猫のトラブルを解決しませんか？

なぜ飼い主のいない猫による被害が増えるの??

飼い主のいない猫は、「捨てられた飼い猫」や「去勢・不妊手術をせずに屋外で放し飼いにした猫」が繁殖して増えたものです。

猫は繁殖力が非常に強い動物です。1回の交尾で100%妊娠します。また、1年間に2~3回出産し、1回の出産で平均5頭出産します。1匹のメス猫を不妊手術しないで放置すると、1年後には20頭、2年後には80頭以上に増えると試算されています。

猫の数が増加するにつれて、「ごみを荒らされる」「庭にふん尿をされる」などの被害が増加します。

飼い主のいない猫を増やさないためには、まずは飼い主が責任をもって猫を飼育する必要があります。

なお、猫を他の場所へ捨てることは法律で禁止されています（1年以下の懲役又は100万円以下の罰金）。

行政で駆除してもらえないの？

猫は動物の愛護及び管理に関する法律で愛護動物に規定されているため、個人でも行政でも、駆除することはできません。

エサをあげなければ猫は減る？

猫には縄張りがあるため、餌やりをやめても遠くへ移ることはほとんどありません。

お腹を空かせた猫は、おとなしく餓死することはなく、何としても生き抜こうとします。餌を求めてごみを荒らしたり、家屋に侵入して食べ物を盗んだり、わずかな餌を巡って猫同士でケンカをしたり、生きていくためにいろいろと試み、新たな問題を起こしながら繁殖を繰り返します。



じゃあ、どうしたらいいの??



地域猫活動

をはじめませんか？

今いる飼い主のいない猫と上手に付き合いながら、数と被害を減らしていく方法です。

地域猫活動の詳細は裏面へ

ご存知ですか？地域猫活動

地域猫活動は、飼い主のいない猫によるごみ漁りやふん尿被害などのトラブルを「地域の環境問題」としてとらえ、トラブルを改善するために地域住民が主体となって行う活動です。

地域で話し合っただけで決めたルールに基づき、地域住民・行政・ボランティアなどが協働しながら、猫をこれ以上増やさず、今いる猫がその生を全うするまで、地域に住み着く飼い主のいない猫を適正に管理していきます。

地域猫活動の具体例

- 1 去勢・不妊手術を行う
- 2 餌を与える時間と場所を決め、食べ残しの清掃を行う
- 3 トイレの設置や清掃などを行う
- 4 回覧板、チラシなどで活動の広報・報告を行う

地域猫活動の効果

- ★ 手術をすることで、猫の出産がなくなるほか、尿の臭いや繁殖期の鳴き声が緩和されます。
- ★ 決められた時間・場所で餌を与えることで、餌の散乱やネズミ・カラス・害虫などの発生を抑え、地域の環境美化に繋がります。
- ★ トイレを設置することで、フン尿の被害が少なくなります。
- ★ 活動をきっかけに地域のコミュニケーションが活発になります

NG

な餌のあげ方

- 他人の敷地で無断で餌をあげるのはやめましょう。
- 必ず去勢・不妊手術をしましょう。手術をせずに餌を与えているだけでは、無制限に繁殖し、事故や病気の危険にさらされる不幸な猫が増えてしまいます。
- 猫は自分で片付けができません。置き餌・撒き餌といった餌の放置はやめましょう。地域環境が悪化し、猫が嫌われ者になってしまいます。

たくさんの猫がいる地域では、個人のみでは解決が困難です。

地域の皆さんで力を合わせて対策をすれば、着実に飼い主のいない猫の数は減少します。

TNR活動にご理解をお願いします

市では飼い主のいない猫を捕獲し、手術し、元の場所に戻すという「TNR活動」を行っているボランティア団体を支援しています。ボランティア団体の活動へのご理解・ご協力をお願いします。

TNRとは



捕獲して
Trap



不妊手術をし
Neuter



元の場所に戻す
Return

©公益財団法人どうぶつ基金

手術済の猫は耳先が
V字にカットされています



【飼い主のいない猫対策についてのお問合せ】 府中市生活環境部環境政策課管理係

電話 042-335-4195 FAX 042-361-0078 Eメール kankyo01@city.fuchu.tokyo.jp